

箕面市議会 市民ネットワーク通信

中西とも子の議会報告

Vol.3 2018年冬号

〒562-0003 箕面市西小路4-6-1 「市民ネットワーク」控室
Tel&Fax:072-724-6787
mail:t-nakanishi@gikai.city.minoh.osaka.jp



2018年は「本気で」地域づくりを!

—— 開発の陰で、一人ひとりの暮らしが壊れないために

2018年がスタートしました。北大阪急行線の延伸関連の工事、市立病院の移転建替えや跡地への学校建設、ごみ処理施設の大規模な改修工事など、大きな予算の事業が目白押しです。ハード整備の一方で、医療・福祉・社会保障、人や子育てというソフト面での対策が気にかかります。

ています。子どもだけでなく、保護者をも含めた対策が必要です。

幼児虐待死事件の背景は?

氷山の一角と捉えて、体制づくりを!

何よりも昨年末のクリスマスの日に起きた悲しい事件について、今もなお心が痛みます。

市は「何をすればよかったのか」について時系列で検証しながら究明中。2月中にはその報告がある予定です。1月現在、虐待の恐れがあるという登録が、約280件にも及んでいるそうです。

虐待の「背景」にある課題にどう向き合うのか、行政の姿勢が問われています。一方で、若い人々はSOSの出し方さえ分からないという傾向があります。行政と関係機関、支援団体との連携や、地域を含め、何層もの相談・見守りなど支援体制を強化すること。そして人権感覚を鈍らせない取組みが大切ではないでしょうか。

子どもの貧困対策も、待たなし!

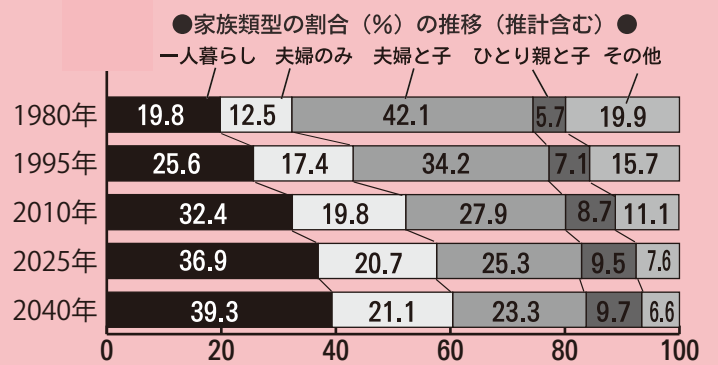
また、箕面市では約4,000人の子どもたちが公的な経済的支援(生活保護、就学援助、児童扶養手当など)を受け

一人暮らし世帯が増えている!

2025年には36.9%、2040年には約4割へ

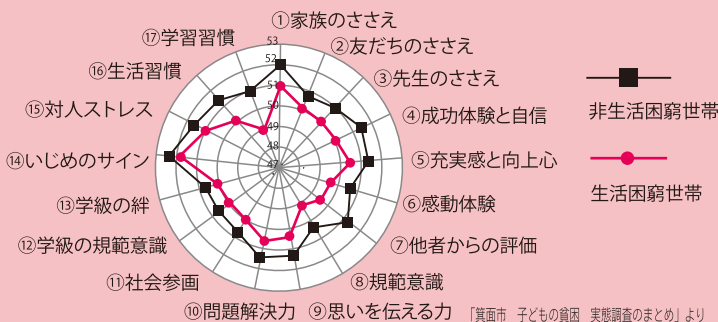


かつては、低収入であっても家族で支え合うことで乗り切りましたが、一人暮らしの場合はそうはいきません。国が進める「在宅介護」や「在宅ひとり」も家族の無償のケアが前提です。高齢化問題と単身世帯問題は、深刻な課題です。国の制度は現状を考慮しておらず、自治体は、対策として独自の福祉と、「人」を育て、豊かな連携ができる地域づくりを真剣に考えていかねばなりません。



国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」(2018年1月12日公表)より

●子どもの貧困<経済的困窮・養育力と生活状況との関連>●



市民ネットワーク 中西とも子の政治スタイル

- 行政を厳しくチェックし、税金のムダ使いを許しません!
- 情報を公開し、市民のみならずと一緒に問題解決をはかります!
- 社会的弱者の立場にたって行動します!
- 平和・人権・民主主義と環境を守ります!
- 組織にしばられることなく自分で考え、行動します!



地域の防災力について



～防災力を高めることは、地域のまちづくりをより豊かなものにする～

箕面市地域防災計画では、市内の14校区にある「地区防災委員会」は、校区内市民の全員参加で組織されている、となっています。

しかし、実際には自治会や地域団体の方々の運営で成り立っており、とくに自治会に加入していない(約5割の)人々は地区防災委員会の活動をほとんど知りません。

地域での防災の取り組みをもっと多くの市民が共有できるように、そして災害時に支援が必要な人々(要援護者)への対応を質問しました。

市の防災の取り組みを、もっと浸透させよう

中西 防災意識を高めるために、周知の徹底と、地区防災委員会への自治会未加入のマンション管理組合等の参加を促進してはどうか。また、全市一斉の訓練を土日などの、参加しやすい日程にすべきではないか。

全市一斉総合防災訓練(安否確認)の参加率

	自治会参加率	全世帯の参加率
2014年	70%	28%
2015年	70%	36%
2016年	76%	33%
2017年	76%	38%

*訓練の参加=黄色いハチカチや声かけで安否確認ができた世帯

市の答弁 マンション管理組合の参加促進に向け、周知を図っていく。また災害は曜日を選ばないので、訓練日を変えることは考えていない。

トピックス

北急延伸と周辺まちづくり



新駅付近の交通広場や、新文化ホール、生涯学習センター、図書館、駐車施設などのまちづくり施設について、現在、設計業者を募集中。来年度中に基本設計・実施設計を行うというスケジュールです。整備の具体的な内容が見えず、市民の声が十分に反映されたまちづくりにはなっていない。情報提供・共有を再度、求めました。また船場西公園の歩行者デッキ設置問題も未解決のまま。

4月から 大阪府の福祉医療費助成制度が変わります

精神障害者、重度以外の難病患者等には厳しい「改正」内容。精神障害者は、全体の1割にも満たない手帳1級の人だけが対象。約6割の重度2級の人には除外された。就労できないた

中西 今は、いざというときに最善の行動がとれるよう、一人でも多くの方に情報提供と、訓練を体験していただくことが大事ではないか。あらためて要望する。

より効果的な訓練ができるよう、市のバックアップを

中西 防災訓練は各地域間で取り組みの差が生じているのではないか。市内外の良い取り組みの共有や、より実効性のある訓練方法の提供など、市が後押しできないか。

また、コミュニティ・タイムライン(CLT)(*注)について、市の見解を問う。

市の答弁 CLTは効果的と認識。市としても支援していく。

また、市は大阪府や関係団体と連携を図り、講師の派遣や実践的な訓練を支援しているが、今後も次のステップアップとなる新たな取り組みを支援していく。

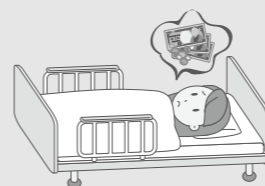
災害弱者への支援について 精神障害者外しは大問題！

中西 災害時に自力避難が難しい「避難行動要支援者」(高齢者、障害者、妊産婦等を、本人の了解のもとで登録：約5,000人)の名簿を地域関係団体が持っていて、災害時の救助や日頃の見守りに協力いただいているが、支援対象者である「障害者」に精神障害者が除外されているのは何故か。

市の答弁 この名簿は消防団、箕面警察、民生・児童委員、社会福祉協議会などに配布し活用することから、本人や家族の心情に配慮したものだ。

中西 本人・家族の意思を確認しないうちに「配慮した」という見解は

め医療費負担が重く、歯科医にも行けない人たちがいます。今回、老人医療費助成が廃止になるため、65歳になっても救われません。独自で助成している自治体もあるのに、箕面市は今のところ、その考えはない。引き続き、府や市に救済策を求めます。



今年度中に 病児保育室が、萱野保育所に開設



病児保育は現場に知らされないまま突然、発表されたものの、市医師会や関係機関との合意や調整ができておらず、3年間、保留になっていました。このたび協議が進み、実現へ。働く保護者にとっては朗報ですが、安全体制が盤石でなければ現場は大変。しっかり見届けていきます。

いかなものか。相模原事件の際に、マスコミが配慮と称して氏名を公表しなかった件を思い起こす。配慮というのであれば、例えばオレンジゆずのバスの障害者割引には「割引証」を発行するなどの配慮を求めたのに、市は「手帳」の提示というルールに固執したことをどう理解すればよいのか。名簿掲載の有無を決めるのは、あくまで本人・家族である。

身近な場所へ、避難体制の充実を



中西 大雨や台風の場合、避難所が遠い地域の人々が自宅から近い施設へ身を寄せることができるよう、市は民間に協力を求めたらどうか。また身体の不自由な人の状況に応じた避難体制の見直しが必要。

市の答弁 ハザードエリア内での家屋について、土石流の深さや流量、浸水深等を精査し、安全な家屋の峻別作業を進めている。避難のあり方について抜本的な見直しを進めていく。

そのほか、要援護者対象から外れる人たち、例えば母子家庭への配慮などについても質問しましたが、市の見解には「想像力」や「人権意識」が乏しく、今後の課題としてさらに提案、議論していきたいと考えています。

*コミュニティ・タイムライン(CLT)…地域の防災組織と行政間の防災活動が速やかにつながるよう、あらかじめ災害時の住民の役割を明確にしておくこと。被害を最小限にするのが目的で、全国的にも策定の動きがある。

行政視察(総務常任委員会)レポート

全国初の「まちなか型市役所」を視察

<1月22日(月)～23日(火)長岡市(新潟県)>

長岡市は、人口約27.3万人と、箕面市のおよそ2倍、面積は18倍以上。2004年の新潟県中越地震の後、行政・都市機能をまちなかに集中させて、衰退する駅前を年間190万人が訪れる市民活動の街へと再生させました。一角にあるシティホールプラザ「アオーレ長岡」は、市役所、アリーナ等、ナカドマ(屋根付きの大空間)、商業施設等の複合施設。市営駐車場も含めて、公の施設の使用料は無料とのこと。市民協働と市民参加を何よりも大切にしているとの説明でした。また、市役所も本会議場も市長室もガラス張り仕様。建設には300回以上のワークショップや丁寧なパブリックコメント(市民意見)を重ねて、市民の思いが随所にちりばめられたそうです。

市内各所の施設を周って学んだ防災体制やまちづくり手法を、箕面市でも是非活かしていきたいです。



インフォメーション

箕面市議会「市民ネットワーク」

中西とも子の市政報告&タウンミーティング

4月1日(日) 午後2時～4時

場所：中央生涯学習センター 3F講座室

無料



開かれた議会へ!

～一步一步前へ～

議会改革

箕面市は、総合273位、情報共有度は27位と健闘
機能強化度は987位と下位クラス

2016年度の議会改革度調査の結果、箕面市議会は政務活動費の領収書公開(市のホームページや、行政資料コーナー)、議会と市民の意見交換会などの取組みが、評価された一方で、議会が本来、果たすべき役割についての改革はまだ不十分である、というふうな評価となりました。

議会が真の意味で、行政の追認ではなくチェック機能をしっかり果たしていくこと、政策や条例を提案できるまで力をつけていくことが求められています。

道は、まだまだ険しいですが、議会に関心を寄せていただけるよう、さらに提案し、頑張ります。

● 議会改革度調査2016ランキング(都道府県内) ●

都道府県内順位	議会名	総合順位	情報共有	住民参加	機能強化
1	大阪府議会	6	1	28	16
2	堺市議会	7	4	46	4
3	柏原市議会	42	12	190	111
4	大東市議会	45	142	51	71
5	枚方市議会	86	83	431	30
6	八尾市議会	120	38	648	47
7	熊取町議会	193	41	254	613
8	大阪狭山市議会	245	368	241	273
9	箕面市議会	273	27	100	987
10	泉大津市議会	276	122	412	488

【調査の観点】

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会

議会が果たすべき役割として3つの柱をあげ、改革度合を数値化し、ランキング化

(1)情報共有(本会議などの議事録や交際費・視察結果の公開具合と検証)

(2)住民参加(傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取)

(3)議会機能強化(議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化の状況)

2016年度 政務活動費 収支報告



収入 政務活動費540,000円(1ヶ月45,000円×12ヶ月)
支出

項目	金額	備考
調査研究費	0	
研修費	33,420	研修会、セミナー他
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	32,030	開示請求費用・参考図書購入
広報費	0	
広聴費	0	
要請及び陳情活動費	0	
人件費	0	
事務費	105,123	事務用品購入・コピー機リース料他
合計	170,573	

残額 369,427円 *残額は、市に返還しました。

議会や市政の報告とともに、ご参加のみなさんと膝をつき合わせて意見交換!!市や議会に対するご質問やご要望、ご意見など何でも大歓迎です。また、いただいた声は議会活動に活かしてまいります。ぜひ、お気軽にお越しください。

2017年度の地域別意見交換会を開催しました

昨年11月に、中小、豊川北小、北小の各校区のコミセンで、合計61名の参加。各地域の道路や公園の管理運営、高齢化や諸団体の後継者不足の問題のほか、多様なご意見をいただきました。詳しくは、市のホームページや議会だよりに掲載します。いただいたご提案は市に伝え、一部の課題は、12月議会で各議員が取り上げるなど施策の改善に努めました。

改革はまだまだ途上です。議会改革に対する議員間の意識の差も小さくはありませんが、“箕面の議会は変わった!”と誰もが認める改革となるよう努力します。

また、皆さまの厳しい眼が必要です。



2月議会 (第1回定例会)のお知らせ



- 2月9日(金) 議案送付
- 2月13日(火) 意見書・決議案、請願 午後5時15分締め切り
- 2月15日(木) 議会運営委員会
- 2月19日(月) 本会議(施政及び予算編成方針演説、2018年度当初予算上程・説明)
- 2月26日(月) 議会運営委員会
- 2月28日(水) 本会議(各会派代表質問)
- 3月1日(木) 本会議(各会派代表質問、当初予算質疑・付託、条例、補正予算等上程・説明・質疑・付託等)
- 3月5日(月)～8日(木) 各常任委員会(12日 予備日)
- 3月20日(火) 議会運営委員会
- 3月23日(金) 本会議(各委員長報告・討論・採決、一般質問)
- 3月26日(月) 本会議(一般質問)



録画映像



ライブ映像

- *本会議・常任委員会・特別委員会は10時～、議会運営委員会は午後1時～
- *議会は誰でも傍聴することができます。
- *本会議・委員会は、インターネット中継・録画を配信しています。

◆お問い合わせは議会事務局へ ☎072-724-6705